②初夏の山野草を楽しむ

感じた自然を歌に表現してみよう

植物から万葉人の心をよむ

万葉集には、百五十種前後の植物が歌に詠まれています。その半分の八十種くらいの植物が、七塚原高原に現にあります。高原の家七塚の自然観察コースには「万葉の森」という看板が付けてあります。そして五十種類の万葉植物（木本）に説明板を掛けました。万葉の歌とその歴史的背景などを書いています。あと三十種類の万葉植物は、草本ですから説明板を掛けることができませんが、この季節には姿を見ることができます。

万葉の歌は、詠み人の心を想像するには植物の見頃に出合うことがよいと思います。現実には満開の花とか、たわわに実をつけた姿とか、美しい新芽に出くわすのは難しいです。しかし、今はどの植物も勢いよく成長していますので美しさとエネルギーを感じます。

今の時期、美しい花を付けている万葉植物は、ツユクサ、スミレ、エゴノキ、アセビ、ショウブ、ホオノキ、ネムノキでしょうか。もちろん、万葉人が歌に残していない花もたくさん咲いています。そんな観察コースの中で、私が万葉植物にこだわる理由は次の理由から。

①一億二千万の人々が見る日本の植物と、六百万人（万葉時代の人口）の人々が見た日本の植物には、どんな違いがあるのか。

②植物の中に、植物と共に生きた万葉人の植物観と私たちの植物観とはどこが違うのか。

③万葉人が見たのと同じ植物を今も残してくれている悠久の自然に対する感謝の心を育みたい。

④自然のすばらしさに出合ったら、その心の内を歌に表現してほしいから。

みなさまも自然観察をする際に、これらのことを思ってみてください。

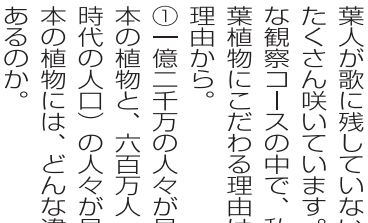
＜ツユクサ＞朝咲き　夕は消ぬる鴨頭草の　消ぬ恋もわれはするかも　作者不詳

＜スミレ＞春の野に　すみれ摘みにと来しわれそ　野をなつかしみ一夜寝にける　山部赤人

＜エゴノキ＞息の緒に　思へるわれを山ぢさの　花にか君が移ろひぬらむ　作者不詳

（NPO法人七塚原自然体験活動研究センター　理事長　西村　清巳）

万葉の森の立看板（右上）、**万葉植物に掛かる説明板**（左上）、**この時期に美しい万葉植物スミレ**（左中）、**エゴノキ**（左下）、**ウワミズザクラ**（右下）



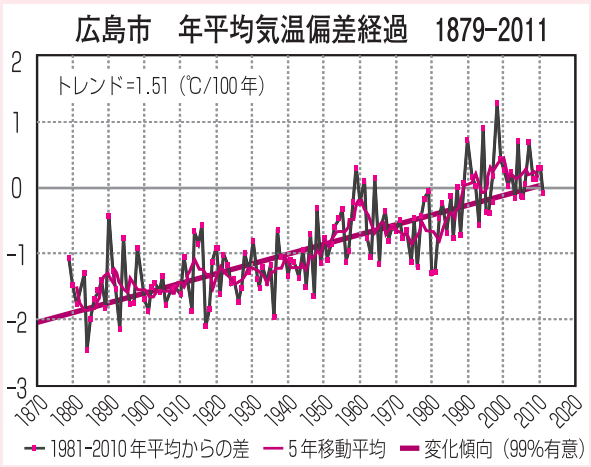
② 気温の長期変化

広島県でも温暖化進む

都市部では影響が強く現れる

第二回目は、広島県内で長期間にわたって蓄えられている気温のデータを紹介しながら、広島県の気候がどのように変化しているのかをお話しします。

下図は、広島市の年ごとの平均気温の経年変化を示しています。広島市では百年あたり一・五一度の割合で上昇しています。特に一九九〇年代から二〇〇〇年にかけては、大きなピークが見られます。



百年間の変動からわかるとおり、広島市も地球規模で起きている、二酸化炭素等の温室効果ガス濃度の上昇を起因とする地球温暖化の影響を受けているのです。

一・五一度の上昇は、日本の年平均気温の上昇一・一五℃より大きな値です。これにはどういう意味があるのでしょうか。

日本の年平均気温は、長期的な変動を見積るために、都市化の影響が少ない全国十七地点を選んで計算しており、広島市は含まれていません。気温の変動には、地球温暖化の影響や、数年～数十年程度の時間規模で繰り返される自然変動が重なっていますが、広島市の場合にはさらに都市化の影響が強く表れていると考えられます。

近畿・中国・四国地方の大都市をみると、やはり日本の平均気温上昇率より高く、都市化の影響が表れています。中でも、大阪と京都の上昇率が大きくなっています。広島県の広島市、呉市、福山市のここ五〇年間（統計期間一九六一年～二〇一〇年）の気温上昇の値を比較してみると、広島市一・二九℃、呉市一・一七℃、福山市一・五九℃上昇しています。これをみると、広島県内では、広島市に都市化の影響が一番表れていると言えそうです。

過去百年の気温上昇率でこのまま気温上昇が続くと、百年後には、広島市の平均気温（一六・三℃）が十八℃近くになります。これは百年後の広島市の気候が、現在の高知県土佐清水市あたりの気候（平均気温十八・二℃）になることを意味します。土佐清水市と言えば、私たち広島県人にとってかなり南国のイメージですよね。このまま温暖化が進むと、広島でとれる作物や魚介類にも変化がみられるかもしれません。

（広島地方気象台観測予報課　岡崎賢治）

環境と健康の学習ルーム

貸し出しグッズ紹介

① 利用の仕方とワットアワーメーター

当協会では、各地域で行われるイベントや学習会などで活用いただけるよう、「環境と健康の学習ルーム」でさまざまなグッズを貸し出しています。

このシリーズでは、人気グッズを紹介する他、各地域で活動する際に役立てていただいたり、オリジナルの活用方法を探るヒントにしていただけるよう、活用事例や利用者の声を紹介していきます。

１回目は、貸し出しているグッズの紹介と貸し出しの流れ、〝省エネ〟意識を高めるのにお勧めのグッズを紹介します。

イベントや学習会などで活用を！

今後の活動に取り入れて

貸し出しているグッズは、大きく分けて『環境』と『健康』のテーマに分けられます。『環境』分野では、温暖化に関するパネル・紙芝居・ＤＶＤ・体験型実験機のほか、ごみ問題に関するパネルやゲームカード、自然エネルギー体験キットなどがあります。『健康』分野では、タバコの害に関するパネル・紙芝居・ビデオのほか、ウォーキング事業をＰＲするベストや腕章などを揃えています。詳しくは、当協会のホームページをご覧ください。（URL：http://www.kanhokyo.or.jp/）

また、貸し出しの流れは次のとおりです。

①利用したいグッズの空き状況を電話で確認
②借用申込書を提出
③グッズ貸し出し
④グッズを利用し、返却
⑤利用報告書を提出

なお、貸し出しは無料です。貸し出し期間は原則２週間、貸し出しおよび返却は当協会もしくは東部支所（福山市）で行います。**（宅配でも対応可。※別途相談ください）**

それでは、活用事例とともに、お勧めのグッズを紹介します。

◆ワットアワーメーター

家電製品のプラグを本体に接続し、本体を家庭のコンセントに差し込むだけで、瞬時に消費電力量や電気料金、CO_2排出量、待機電力量などが計測・表示できるグッズです。

～活用事例～

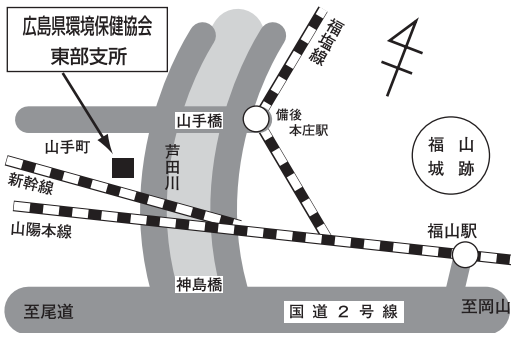
福山市道上学区公衆衛生推進委員会では、学区内の三十二世帯が各家庭のテレビやパソコンなどの〝待機電力〟を測定し、調査票に記録する事業で使用。

〝待機電力〟の実態を体感し、省エネタップを活用したり、こまめにプラグを抜くようになるなど、意識啓発だけでなく、省エネ行動を促すのに役立った。

今後も、活用事例を交えながらさまざまなグッズを紹介していきます。

（地域活動支援センター）

東部地区の検査受付は、支所でも行います！



食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など

【受付時間】月曜日から木曜日　8:30～17：30

財団法人　広島県環境保健協会
東　部　支　所
〒720-0092　福山市山手町5-32-26
TEL　084-952-0007
FAX　084-952-0009